

後期研修 案内

2012





後期研修を迎えられるみなさまへ

山田赤十字病院長 村林 紘二

当院の後期研修医募集についてご案内致します。

研修期間は3年間、募集人員は1年次につき20名程度です。当院の後期研修プログラムの第一の特徴は、一定の型にはまったカリキュラムを策定していないことです。即ち各研修医がそれぞれ独自のカリキュラムを自主的に作成し、それを研修委員会に提示して頂くことを原則としています。他の研修と重複するなどの特殊な事情が無い限り、基本的にそれぞれの自主性を尊重します。複数の診療科をローテートされることや、他施設での研修を希望されることも可能です。3年間のうち1～数ヶ月は救急外来専従として、初期研修医の指導に当たって頂く他、医療過疎の東紀州地域支援（バディホスピタル・システム）として尾鷲総合病院に短期赴任も経験して頂けます。3年間の後期研修後の進路については面談の上対応させて頂きます。また当院は専従職員6名の研修センターを有し、研修医からのいろいろな相談に応じており、大変好評を博しています。

地域完結型医療への転換に本格的に取り組んでから6年経過し、すっかり地域に定着した結果、紹介率は100%超、逆紹介率は85%となり1ヵ月当りの新入院患者数は約1,300人に増加し業務量は増えましたが、11名の医療ソーシャルワーカー、26名の医師業務補助者をはじめ、大勢のコメディカルが多忙な医師をサポートしているため、医師は臨床に没頭できる環境が整っています。

当院は108年の歴史と伝統を誇りますが、老朽化・狭隘化のため新病院を建築中で、2011年8月に竣工します。新病院は地域との医療連携を更に強化し、救急を含むあらゆる急性期医療と癌診療に特化した、名実共に地域医療支援病院として、地域完結型医療の中核を担っていきます。新病院は職員のアメニティー向上を第一に考えましたので、これまでどの病院にも見られなかったユニークな構造であり、患者及び職員を惹きつける魅力ある病院になると自負しています。我々と共に素晴らしい病院づくりに参加して頂く情熱を持った方、是非当院の後期研修にご応募下さい。多くのアクセスをお待ち申し上げます。

後期研修の特徴

- 専門分野の高度な知識・技術を修得し、各科認定医・専門医を取得するために必要な研修が可能です。
- 個々のキャリアプランに基づき、独自の研修計画を作成することができます。初期研修が修了し、今後の方向性が未定の場合も、当院の後期研修ではさまざまな科を選択することも可能で、じっくりと将来を検討する時間が得られます。
- 二次から三次までの救急患者が来院する救急外来では、初期研修医の上級医として指導を行い、さらに診療能力を高めることができます。
- 日本赤十字社がもつ各病院と連携し、希望の病院での研修を行うことができます。
- 当院の中核的な活動として災害時の救護活動があり、国内での有事の場合には救護班を派遣し救護活動を行います。その救護班の医師として救護に携わることができます。
- 日本赤十字社では国際救援活動を行っており、医師として参加することも可能です。

処 遇

身 分	後期研修医（正規職員）
給 与	1年目 約 12,300,000 円／年収 2年目 約 12,600,000 円／年収 3年目 約 12,900,000 円／年収
賞 与	夏 1.95 ヶ月 冬 2.0 ヶ月（平成 22 年度実績）
休日・休暇	休日：土・日、祝祭日、創立記念日（5月1日） 年末年始（12月29日～1月3日） 有給休暇：初年 15 日、翌年～21 日と前年の繰越（最高 42 日） 特別有給休暇：夏季休暇等
そ の 他	各種社会保険（健康・厚生・雇用・労災）を適用する 医師賠償責任保険、時間外手当、医師確保手当 通勤手当、住居手当、扶養手当、日・宿直料、退職金等

さあ、新病院へ

山田赤十字病院 副院長 兼 第二消化器科部長
研修医・医学生教育委員会委員長
福家 博史



新臨床研修制度の導入もあり、医師は自由に勤務先を選択できることとなり医師の偏在が顕著になりました。当院の位置する三重県南勢地区も医師不足となり地域医療崩壊が確実に進んでいる現状ですが、幸いなことに当院は確実に医師、看護師が増加しております。これはひとえに病院の機能分担を決め、救急医療の充実に努力をしたことが要因と考えております。更に平成23年8月に新病院の建設が完成し、24年度から診療が開始できることも大きな要因と考えています。新病院の完成に伴い、医療機器の充実、電子カルテへの移行が成されます。活気溢れる当院で後期研修医として働きませんか。

当院は現在初期研修医28名、後期研修医19名が若きパワーを発揮し臨床に従事しております。念願だった神経内科医も3名、放射線科医も4名体制となり、一段と充実してまいりました。新病院として稼動する病院は急性期病院としてより多くの患者さんを受け入れ、専門性も問われますが、指導医体制も確立し、わからないことは容易に相談できる状況です。症例の豊富さ、救急体制の充実（ドクターヘリも含めて）、若手医師が多いことは君たち後期研修医の環境を後押ししてくれます。まだ当院の概況が掴めないようでしたら一度見学にお越しください。専門性の定まらない方でも、ローテートして決めていただくことも可能ですし、国内留学も大いに推奨しております。臨床医としての最も大切なこの時期を是非当院で勤務してみてください。やる気さえあれば、必ずや御期待に沿えることを確信しております。

新病院は、働く職員のアメニティーを尊重する設計がされており、各階（5階建て）のフロアは100m以上の大変広く、十分運動量があるため、運動不足となることはありません。思い切り動き回ってください。さあ一緒にがんばりましょう。

当院での研修を検討しているみなさんへ

山田赤十字病院 副院長 兼 第一外科部長

研修医・医学生教育委員会副委員長

楠田 司



3

初期研修 1 年目は、病院に慣れること、仕事に慣れることで精いっぱい、闇雲に突っ走った 1 年だったと思います。2 年目になり、少し余裕もできると同時に仕事のおもしろさ、むずかしさを実感しているのではないのでしょうか。仕事のおもしろさとは満足感、充実感が得られることです。このためには、良き仲間恵まれること、十分に満足できる仕事提供されていること、文字通り働きやすい環境が整備されることを必要とします。当院は、幸いにも毎年多くの初期研修医を受け入れ、引き続き後期研修に移行することも少なくありません。また、上級医は、年齢や診療科といった垣根を感じさせないメンバーであり、コメディカルのスタッフも仕事に対するひたむきさはどこの施設にも負けません。こういった仲間と共に働くこととなります。

さらに、症例数では、新入院患者数、救急患者数いずれも **15000** 名以上と県下有数の病院であり、どの診療科に進もうと、十分手ごたえのある研修が可能です。もし、初期研修修了時に進むべき道に迷っていても大丈夫です。各専門科を廻り、後期研修中に将来を見出すことが可能なプログラムを用意します。

一方、当院の最大の悩みであったのが、古い病棟でした。赤十字支部病院として最も古い歴史があるものの、研修には不備がありました。この問題も平成 24 年 1 月に新築移転の予定となり、解決されています。新病院となり、最新鋭の医療体制を構築し、臨床に携わることとなります。新病院となった初年度の後期研修医募集となります。共に新しい病院の歴史を作っていきたいと思いません。

まずはぜひ、見学においで下さい。

独自のプログラムで診療の幅を広げられます

内科 後期研修医 西濱 康太

当院内科での後期研修が始まり、あっという間に3ヶ月が経ちました。主治医として患者さんの治療方針を具体的に提案し、場合によっては合併症を伴う検査や治療を行うことの重みを改めて感じながらの毎日です。

現在は糖尿病チームに所属しながら、一般内科疾患の診療にも参加させて頂いています。担当症例としては1/3が糖尿病関連、残りの2/3が肺炎、尿路感染症、脳梗塞、心不全などのいわゆる **Common Disease** といった具合です。エコーや内視鏡などの手技も、しっかり枠をもらって勉強中です。(手技については初期研修医のほうが上手かったりするので、教えてもらうことも多いです。) 当院では診療科間での敷居が低く、些細なことでも困ったことがあれば、すぐにアドバイスをもらえるので、不安を随時解消しながら日常診療に臨んでいます。また、後期研修プログラムは柔軟性に富んでおり、様々な科をローテーションすることも可能です。私は腎臓内科でも数ヶ月間研修させていただき、診療の幅を広げることができればと考えています。

知識、技術ともに少しずつではありますが、確実にレベルアップできていると感じます。大変なときもありますが、充実した毎日です。興味のある方は、是非一度見学に来てください。

ちなみに、気になる(?) 休みですが、私用や学会がある時などは診療チーム毎に代診をお願いするなどして、上手にやりくりしていますのでご安心を。



私と山田赤十字病院の2年3か月

内科 後期研修医 宮川 慶

私は当院での2年間の初期研修を終えて、そのまま後期研修を継続させていただいています。その大きな理由として2点あります。

私は内科志望で特に診断学に興味があるので、とにかく様々な疾患がみたいという信念があります。2年間の初期研修を終えても興味をしぼることができず、後期研修を当院で継続することとしました。それは、自分の興味ある診療科を自由に回れるからです。そして、診療科の枠にとらわれずにいつでも相談にのってもらえる先生方、および技師さんが多数いる当院は非常に魅力的だったからです。

第3内科（糖尿病・内分泌、消化器、肝臓内科）から後期研修をスタートしました。4月から上部消化管内視鏡検査、腹部超音波検査、救急外来の当番をしながら、病棟業務をおこなう毎日です。先生方から指導をうけながら様々な疾患を診ることができて非常に満足しています。

後期研修を当院で継続した2点目の理由が、3年目といえども診療の裁量権を任せ一人ですべて入院患者様の診療を行えることにあります（もちろん、いつでも上級医師のサポートを得られる環境が整っています）。自分で診察、鑑別、診断、治療方針、治療の過程を引き受けることは、非常に責任が重く、自分にとって荷が勝ちすぎることはありませんが、この貴重な経験が糧となり、日々の勉強がすぐに臨床に生かされていく。診断学に興味があり、ジェネラルに診療能力を身につけたい私にとっては毎日が充実したものとなっています。

当院は三重県中南勢地区の拠点病院であり、**common disease** は当然として、教科書に出てくる稀な疾患、難病も日々遭遇します。そして、中毒疾患（大量服薬、農薬、殺虫剤、石油、灯油など）や日本紅斑熱、エイズなどなど…貴重な症例だって経験できます。

山田赤十字病院での研修について、興味のある方も興味のない方も一度見学に来てみませんか？皆さんにとって貴重な1日を見学につぶすのは大変なことですが、見学に来る価値は十分にあると思います。そんな私も見学に来るまでは、当院で研修するなんて思っていなかったんですから。みなさんと一緒に仕事ができることを願い、楽しく働いて待っています。

尊敬できる指導医のもとで

腎臓内科 後期研修医 杉山 倫子

当院腎臓内科での後期研修は、まだ3カ月ほどしか経っていませんが、毎日が充実していて、とても満足した内容になっています。4月の初めからいきなり新患外来がありました。最初はとまどうことも多く、言葉通り右も左もわからない状態でしたが、初診で診る患者さんをいろいろな病態を考えてアセスメントし、プランを練ることはすごく勉強になり、楽しさもあります。ただし、心配性な私は逐一隣で外来をしている指導医の先生に意見を求め、さらに考えを深めたり安心したりしています。

患者さんの幅も広く、腎炎や保存期～末期腎不全、透析患者さんなど多種多様です。それぞれにおける管理や合併症に対する治療、勉強すべきことはたくさんあります。さらに当院では内シャント術、シャントPTAも腎臓内科で施行しており、内容がとても盛りだくさんです。

そして何よりも私がありがたいと思うのは、指導医の先生方です。部長をはじめ、指導医の先生方は皆とても熱心です。知識や経験の豊富さだけでなく、患者さんに対する心構えなど、まさに「こんな先生になりたい」と思います。常にバックアップ態勢が整っており、充実した研修が行える当科で、早く成長し腎臓内科の一員として役に立てるようになりたいと思います。



循環器エキスパートを目指して

循環器科 後期研修医 森 一樹

当院循環器科の後期研修の特徴は何よりも豊富な症例数だと思います。

当院の救急救命センターは広大な南勢地区の高次救急を担っているため、急性冠症候群や急性心不全、致死的不整脈をはじめとして多種多様な急性期循環器疾患を多数経験することができます。また、診療科として内科と独立しており、専門性の高い診療の経験が得られることも特徴です。

当院は指導医の数も市中病院としては県内(or 東海地区)でも随一であり、常に指導医たちとディスカッションしながら診療を進めることができることも特徴です。市中病院にありがちな症例数だけが多い自己流の研修ではなく、一例一例を深く検討する質の高いものとなっています。

さらにモチベーションの高い先生方には、国際学会での研究活動や国内施設への見学なども奨励されており、やる気さえあれば国際学会での発表のチャンスもあり、後期研修の枠を超えた医師としてのチャンスがたくさんある事も魅力の一つだと思います。

いろいろと書きましたが、私自身は、後期研修では専門医取得へ向けて基本的な知識や臨床技能をじっくりと研修したいと考えていましたので、まさにニーズにあった施設でした。毎日の緊急カテから病棟管理、さらには研究まで、やりたいことが思いっきりできる環境で上の先生たちに支えてもらいながら頑張っています。ハードながらも毎日充実した生活を送りたい先生方、ぜひ一緒に循環器エキスパート目指してがんばりましょう！

待っています！



豊富な症例で十分な臨床経験が積めます

耳鼻咽喉科 後期研修医 杉山 智宣

山田赤十字病院にて初期研修を終了後、継続して耳鼻咽喉科にて後期研修を行っています。週3回の手術および外来、各種検査を日常業務としております。南勢地区の中核病院であることから、症例は豊富です。耳、鼻、のどの良性疾患から悪性疾患まで、様々な手術を年間900例以上行っており、担当する症例の、入院、手術の説明、手術、術後管理、退院後の外来までを行っています。

まだ、始まったばかりで分からないことが多く、先輩医師に相談しながら診療しています。症例が豊富であるため、忙しい毎日ですが、いろいろなことを先輩医師、そして毎日の診療から教えられ充実した毎日を送ることができています。先輩医師のみでなく、他科の先生方はどんな些細なことでも親切に教えてくれますし、看護師さん、薬剤師さん、検査技師さんも皆親切にしてくれ、とても働きやすい環境です。

当科は当番日の外科系救急の一員として、初期研修医とともに診療にあたるため、様々な疾患のプライマリ・ケアにも接する機会があります。様々な疾患と接することで、多くのことを学ぶことができます。

臨床だけではなく学会発表も積極的に行っており、学会に参加することで全国との位置関係を認識し、さらに学会で得た知識を診療に役立てることも可能です。

山田赤十字病院であれば、後期研修期間で十分な臨床経験を積むことができると思います。興味のある方は是非いらしてください。



自分が後悔しない決断

小児科 後期研修医 杉浦 勝美

比較的早い段階から志望が小児科と決まっていたので、3年目になって自分の興味ある科で毎日働いています。3年目になって2年目にまではなかった責任が急に湧き上がってきたことには少し戸惑いを感じましたが、その分自分で決定できる部分もあって1、2年目では感じられなかったやりがいを感じています。分からなかったことが分かるようになってきて、毎日少しずつ成長していけている気がします。

初期研修医、医学部の学生さんに伝えたいのは自分の興味持てる分野を見つけることが大切ということです。興味ないところにすすんで、いやなことがあれば、長続きしないかもしれません。興味ある分野なら頑張れる可能性があります。

初期研修医、医学部の学生さん、後悔しない決断をしてください。自分が決めた決断に納得がいく決断をしてください。周りにながされず、自分の意志ですすむべき道を決定してください。

自分はこの山田赤十字病院の初期研修を選んで、そのまま後期研修を選んだ部分間違いでなかったと言いきれます。みなさん山田赤十字病院で後期研修をしてみませんか？伊勢は朔日餅ついたちもち(伊勢神宮で毎月一日に販売する月によってかわる餅)に行けますし、居酒屋の魚介類がどこも美味しいです。

これを読んでいる初期研修医、医学部の学生さんと朔日餅に行ける日を楽しみにしています。



募集要項

応募資格	卒後臨床研修修了者
定員	約 20 名
必要な書類	1. 履歴書 1 通（希望する研修内容を記入） 2. 医師免許証写し 3. 卒後臨床研修修了見込みを証明する書類 4. 卒後臨床研修を行っている病院長または研修責任者の推薦状
申込受付期間	平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 3 月 9 日まで
選考方法	1. 選考日：申込後に連絡 2. 場所：山田赤十字病院 3. 選考方法：面接

病院見学・後期研修に関する相談も随時受け付けています。

お申込み・お問い合わせ

山田赤十字病院 総務課
〒516-0805
三重県伊勢市御薊町高向 810
TEL: 0596-28-2171 Fax: 0596-28-2965
E-mail: jimubu@yamada.jrc.or.jp
URL: <http://www.yamada.jrc.or.jp>

